

# 市民による自由演劇倶楽部の推進事業

## 自由演劇倶楽部 えん

### 1. 事業が目指すところ

地元神戸や兵庫県の民話を朗読劇風に発表して、地域おこしや地域交流に取り組みたい。地元の民話をさらに発掘していき、その地域の児童館や老人会、カフェ、地域のイベントなどで民話の普及活動を続けるとともに舞台での公演等にも取り組んでいく。また、地域のNPO団体等と連携した社会貢献活動等を通じて地域交流活動に取り組んでいく。

### 2. 活動内容

1) 地域の初心者の発声練習では大きな声を出すことや滑舌の練習の機会を持ってもらうことで高齢者のフレイルの予防につなげる。12月末現在、延15名参加。

2) 月2回のメンバーの朗読劇のレッスンは活動の基本で、令和5年からプロの演技指導を受けるようになり、一層、技術に磨きをかけるよう取り組んでいる。



3) 朗読劇の外部出演は今年度新たに、地元の地域福祉センター、異業種交流会、からと児童館、中華会館で行い活動の幅が広がった。12月末現在、8公演実施、延234名参加。4) 豊岡市で地元の朗読劇グループと合同で朗読劇を行うとともに交流を持った。

5) エフエムわいわい(YouTube)で阪神淡路大震災の被災者の想いをテーマにした『震災列車』を配信した。12月末現在、YouTube 270回視聴。

### 3. 成果や課題点

新たに来てほしいとの要望が多く、地域福祉センターや異業種交流団体、中華会館などとの新しい繋がりが生まれた。民話についてはどの世代でも驚くほど知られておらずやりがいがある。

活動が広がるにつれ代表の負担割合が大きくなっている。対策としてメンバー一人ひとりに役割分担をこれまで以上に担ってもらえるような意識改革を行う。一方成果として、脚本作成、衣装づくり、楽器演奏、カメラ・ビデオ撮影、司会など様々な技能を持った方がサポーターとして協力してくれている。

### 4. 今後の展望、成果の活用

神戸や兵庫の民話の朗読劇を柱にしながら演劇の舞台等に出る機会を通じて朗読劇に磨きをさらにかけていきたい。また、朗読劇だけでなく滑舌練習、健康体操、歌や演奏やダンスを加えて楽しい公演にしていきたい。これらを通じて地域活性化、地域おこしを一層進めたい。

